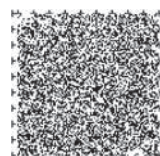




県政のしおり

2026



はじめに

福岡県は、充実した交通インフラ、アジアとの近接性、優れた技術を持つ多くの企業や豊富な人材を有し、新鮮な海の幸、山の幸に恵まれ、全国に誇る農林水産物も数多くあります。

これらの強みを生かして、企業誘致、輸出の拡大、観光誘客などを進めるとともに、半導体やバイオ産業など成長産業の育成にも取り組み、国内、そして世界から選ばれる福岡県を目指します。

また、誰もが住み慣れたところで働く、長く元気に暮らす、子どもを安心して産み育てることができる地域社会づくりを一層進めます。

こうした取り組みにより、本県を九州のリーダー県として飛躍、発展させ、誰もが安心してたくさんの笑顔で暮らせる福岡県にしていきたいと思います。

この冊子は、県のすがたや施策などを分かりやすく紹介したものです。福岡県についての理解を深めていただければ幸いです。



福岡県知事 服部 誠太郎

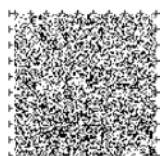
目次



- わかとおおはし ぶん
- ①若戸大橋とぼんぼん船(北九州市)
きゅうい とうでん え もんてい
- ②旧伊藤伝右衛門邸(飯塚市)
はちづる あんせん
- ③原鶴温泉(朝倉市)
しらいと たき
- ④白糸の滝(糸島市)
やながわわくた
- ⑤柳川川下り(柳川市)
うみ なかみちかいひんこうえん
- ⑥海の中道海浜公園(福岡市)
あがの やき
- ⑦上野焼(福智町)
もじ こう
- ⑧門司港レトロ(北九州市)
ちくご わがさ
- ⑨筑後和傘(久留米市)

- 県庁案内～ようこそ県庁へ～ 02
- 福岡県の財政と主要施策 03
- 福岡県のあゆみ 05
- 福岡県のすがた 06
- 福岡県の市町村 07
- 福岡県の商工業 08
- 福岡県の農林水産業 09
- 福岡県の観光 11
- 福岡県の世界遺産 12
- 福岡県の伝統工芸品 13

このマークは目の不自由な
などが使う音声コードです



県章



梅の花を形どり、県の発展と県民の融和をあらわしています。昭和41年5月10日公募によって県が決めました。

県の花・うめ



昭和29年3月19日NHK植物友の会が太宰府の梅にちなんで決めました。

県の鳥・うぐいす



昭和39年7月3日公募によって県が決めました。

県の木・つつじ



昭和41年9月5日みどりのニッポン全国運動で決めました。

県庁案内～ようこそ県庁へ～

福岡県庁は隣接する東公園と一体となった環境をつくりだすために「水と緑の中の県庁」をテーマに、昭和56年に建てられました。庁舎は、議会棟、行政棟、警察棟に分かれています。



県庁全景

警察棟

行政棟

議会棟

東公園

棟 名		構 造	延床面積(㎡)	高さ(m)
議会棟	議場棟	地上4階・塔屋1階建	3,943.55	29.80
	事務棟	地下1階・地上4階・塔屋1階建	10,080.28	27.85
行政棟		地下3階・地上11階・塔屋1階建	77,082.21	48.20
警察棟		地下1階・地上6階・塔屋2階建	38,759.61	34.65

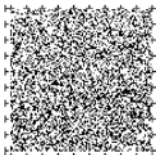
県庁舎のおたち



旧県庁舎

跡地には、国際・文化・情報の交流拠点施設「アクロス福岡」が建つ

- 明治4年7月 廃藩置県
下名島町会所の藩庁を県庁とする
- 明治4年9月 県庁を福岡城内に移転
- 明治9年7月 県庁を天神町に移す(木造、一部洋風漆喰塗壁造り)
- 明治44年7月 旧県庁舎本館新築工事に着手
(木造れんが造り2階建、地下室付一部3階建)
- 大正4年2月 旧庁舎本館竣工
- 昭和4年7月 旧庁舎西別館竣工
(鉄筋コンクリート造り5階建地下付)
- 昭和27年12月 旧庁舎南新館竣工
(鉄筋コンクリート造り4階建)
- 昭和34年2月 旧庁舎東別館竣工
(鉄筋コンクリート造り地下1階地上5階建)
- 昭和52年7月 議会で「県庁舎の位置を変更する条例」を
議決、東公園への移転確定
- 昭和53年11月 県庁舎建設工事着工
- 昭和56年11月 4日に竣工式を行い、16日開庁



福岡県の財政と主要施策 (令和8年度)

チャレンジと安心! 豊かな未来へ 「翔」け上がる福岡県

過去最大!

当初予算
総額

2兆3,000億円

福岡県の予算

検索

- 人を育て、すべての人の活躍を応援する
- 産業を育て、県経済を強くする
- 人を惹きつける元気なまちをつくる
- 健全な環境と、安全・安心な暮らしを守る

予算の詳細は
こちら▶



人を育て、すべての人の活躍を応援する

「子育て」を応援

ベビーシッター利用を支援 ▶▶▶ 1,157万円

冠婚葬祭や通院などで一時的に生後6か月未満の乳児の保育サポートが必要な子育て世帯に、ベビーシッター利用料を助成

利用料が2,500円/時間の場合...
自己負担額400円/時間に!
(2,100円/時間を助成)

「こども」の健やかな成長を応援

フクオカ イグナイト キャンパス (※) ▶▶▶ 1,038万円
県立高校「Fukuoka Ignite Canpass
～学びの心に火をつける～」

高い指導力を持つ教員の講座を、在籍校にとらわれず、学校の枠を越えてオンデマンドで視聴できる動画サイトを構築

※Ignite Canpass: ignite(点火する) canpass (can(できる)+pass(合格する))をcampus(キャンパス・学舎)とかけた造語



(撮影イメージ)

学校給食費の保護者負担を
※抜本的に軽減

▶▶▶ 152億8,916万円

公立の小学校などの学校給食の
食材費を支援(県内723校分)

※基準額(月額): 小学校 5,200円
特別支援学校(小学部) 6,200円

早期アプローチにより
不登校児童生徒を支援

▶▶▶ 5,191万円

・長期欠席予測シートを活用し、支援が必要な児童を把握した小学校に不登校児童支援員の配置を支援
・不登校児童支援員の資質を向上させるための研修を実施

「ジェンダー平等」の推進と「女性」の活躍を応援

私らしく働く!
女性のキャリアを応援 ▶▶▶ 8,170万円

・働く女性の交流の場「福岡キャリア・カフェ」を、子育て中などの女性もオンラインで参加できるハイブリッド型で開催
・女子学生がロールモデルや人事担当者と交流する「福岡ジョブ・コレクション」を開催
・「女性のキャリア応援センター(仮称)」を開設し、女性の就職やキャリアデザインなどをワンストップで支援

生理休暇の取得を促進 ▶▶▶ 2,086万円

生理休暇が当たり前に取得できる社会を目指し、企業の経営者・人事労務担当者向けセミナーや県民向けイベントを開催

「すべての人」の活躍を応援

障がいのある人が働きやすい
職場づくりを支援 ▶▶▶ 3,249万円

障がいのある人が活躍する職場の見学ツアーと、企業の受入環境の改善を助言するアドバイザー派遣により、働き続けたい職場づくりを支援

産業を育て、県経済を強くする

県経済の原動力「中小企業」の成長を支援

「福岡県中小企業“稼ぐ力”
応援センター」を設置 ▶▶▶ 1億5,154万円

中小企業のDX・生産性向上・先進モビリティに関する取引
拡大・新事業進出を国の機関と一体的に支援

奨学金返還支援による
中小企業の人材確保 ▶▶▶ 5,047万円

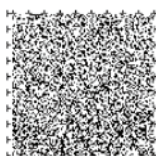
従業員の奨学金の代理返還や手当の支給を行う中小企業へ
助成を行い、中小企業の人材確保を応援

自動車産業サプライチェーンの強靱化

日産自動車の生産拠点が移管される
ことを契機として集中的にサプライチェーン
(自動車部品の供給網)を強靱化

▶▶▶ 5億5,071万円

・自動車部品のサプライヤーに対し、設備導入や技術開発を支援
・首都圏で個別相談会などを開催し、生産移管企業を戦略的に誘致



<日産自動車九州(刈田町)>

世界で勝負できる「先端技術産業」の創出を加速

世界とつながるバイオスタートアップエコシステム
フクオカ バイオ オープン ゲートウェイ
「Fukuoka Bio Open Gateway」を形成 ▶▶▶ 1億7,172万円

・AI・デジタル技術を活用した医薬品などの研究開発の加速化を支援
・九州大学のAI技術、生物食品研究所の食品開発の知見を活用し、機能性表示食品の相談から届出までの期間を約3分の1に短縮
・久留米大学「スリーブラボ」と連携した睡眠関連商品の開発を支援

生産力を強化し「強い農林水産業」を実現

未来の農業をつくる
構造転換緊急プロジェクトを推進 ▶▶▶ 1億1,235万円

農地の将来像を示す地域計画のブラッシュアップや、農地の集約化に必要な生産力向上のための機械の導入などを支援

食の王国・福岡の魅力を高め、
「観光産業」を振興

国内外の旅行者向け
宿泊促進キャンペーンを実施

▶▶▶ 6億7,494万円

・海外の旅行サイトを活用し、訪日客向けに宿泊代金の一部を助成
・閑散期の平日に観光客を呼び込む「ふくおか平日おトク旅観光キャンペーン」を実施(宿泊代金の一部を助成)

経済成長を支える
「産業人材」を育成

半導体人材の育成を
強力に推進

▶▶▶ 2,851万円

福岡半導体リスキリングセンターにおいて、学生向けに半導体の製造工程が学べる見学会やエンジニアとの交流会を実施

人を惹きつける元気なまちをつくる

「住みつけたい、住んでみたいまち」をつくる

「ふるさと福岡県応援基金」を設置 ▶▶ 1億円

「ふるさとのために貢献したい」という気持ちにいつでも応えられるよう、ふるさと納税を積み立てるための基金を設置

ITスタートアップ創出拠点

「e-ZUKA TECH GUILD(仮称)」を設置 ▶▶ 2,459万円

・飯塚研究開発センターに、IT技術を活用して企業が抱える課題にチャレンジする拠点を開設
・ビジネスプランコンテストを開催し、起業を目指す学生・研究者を支援

「文化芸術」の力で、人とまちを元気にする

「福岡県文化芸術振興基金」を設置 ▶▶ 48億4,136万円

世界水準の芸術の誘致や、これからの福岡県の文化芸術を担う人材育成などに活用するための基金を設置

「福岡県アーツカウンシル(仮称)」設立に向けた準備 ▶▶ 5,527万円

・文化芸術活動の担い手を専門的・長期的に育成・支援する組織の設立準備
・若手芸術家の活動(国内でのステップアップや海外でのチャレンジなど)に対する支援



©株式会社隈研吾建築都市設計事務所
(新県立美術館の完成イメージ)

新県立美術館の建設に着手

▶▶ 65億2,270万円 開館予定: 令和11年度 場所: 大濠公園南側

「スポーツ」の力で、人とまちを元気にする

インターナショナルトレーニングセンターの開設

▶▶▶ 1億7,323万円

海外選手の招聘・育成や海外選手との交流による県内アスリートの強化・育成を図るため、アクシオン福岡を改修する基本計画の策定、基本・実施設計を実施



(アクシオン福岡)

「アジア男子バレーボール選手権大会 福岡2026」を開催

▶▶▶ 1,728万円

・スポーツへの関心を高め、バレーボールの競技者とファンを増やすため、大会に小学生を無料で招待
・中学校・高校において、県内トップアスリートによる出張バレーボール教室を開催
・国内外からの来場者に本県の農林水産物、観光地、ワンヘルスの取り組みをPR

県民の「健康」づくりを推進 血圧測定の習慣化を推進

▶▶▶ 3,675万円

生活習慣病予防のための継続的な血圧測定の必要性を、市町村や企業と連携するとともに「ふくおか健康ポイントアプリ」を活用して普及

認知機能低下の 早期発見・早期予防を推進

▶▶▶ 806万円

・VRや視線追跡技術など新たな技術を活用した検査や、運動と栄養指導などを組み合わせた新たな知見による予防プログラムに取り組む市町村を支援
・認知機能低下の早期発見・早期予防の重要性を啓発する県民向け講演会を開催

健全な環境と、安全・安心な暮らしを守る

「環境」を守り、未来につなぐ

脱炭素化を進めるため ペロブスカイト太陽電池※を率先導入 ▶▶ 8億1,595万円

・指定避難所となっている施設への率先導入や、県有施設約1,000施設で設置できるかの基礎調査を実施
・道路施設に試験導入し、発電量や耐久性などを検証
※軽量・柔軟といった特徴を持ち、従来型の太陽電池では設置が難しかった場所にも導入が可能



(ペロブスカイト太陽電池)

「ワンヘルス」の取り組みをみんなで推進

みんなでやろう!身近なワンヘルスの取り組みへの参画を推進 ▶▶▶ 2,675万円

県民が取り組める身近なワンヘルスの活動を話し合う「ワンヘルス未来会議」から提案された活動を広げるため、行動を喚起する県民向けイベントの開催や、市町村やワンヘルス宣言事業者の取り組みを支援

「困難を抱える人」を支援

進学をあきらめない! 生活困窮世帯のこどもの進学を応援 ▶▶ 1,379万円

大学・短大・専門学校などの入学試験や模擬試験の受験料を助成

「防災・減災」対策を強化

「まもるくん」の機能強化 ▶▶ 2,896万円

・防災情報を取得できるエリアを最大5エリアから県内全域へ拡大
・子ども向けの防災学習サイトや災害時にニュースなどの情報を閲覧できる機能を追加
・知りたい防災情報を会話形式で簡単に検索できるAIチャットボット機能を追加



犯罪を防ぎ、「生活の安全」を守る

トクリュウ壊滅に 向けた対策を強化 ▶▶ 9,118万円

・被疑者の早期検挙に向け、スマートフォン解析や防犯カメラ捜査を強化
・大麻をはじめとする違法薬物鑑定体制の強化

飲酒運転撲滅対策を強化

▶▶▶ 1,743万円

飲食店の協力のもと、来店客への声かけ運動や啓発イベントの開催をする「飲酒運転撲滅100日チャレンジ作戦」を実施

ワンヘルスとは

ワンヘルス(One Health)とは、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一つの健康と捉え、一体的に守っていくという考え方です。私たちが健康に暮らしていくためには、地球に暮らす動物、そして地球自身も健康である必要があります。本県では、ワンヘルスを実現するため、全国初となる「福岡県ワンヘルス推進基本条例」の制定をはじめ、ワンヘルス国際フォーラムの開催やワンヘルス教育、調査研究の実施など、さまざまな取り組みを行っています。



FUKUOKA ONE HEALTH

ワンヘルス応援サイト

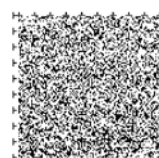


福岡県の基本方針

- 人獣共通感染症対策
- 人と動物の共生社会づくり
- 薬剤耐性菌対策
- 健康づくり
- 環境保護
- 環境と人と動物のより良い関係づくり



宝くじの収益金は、子育て支援などに役立てられています。購入は、ネットがお得で便利です。

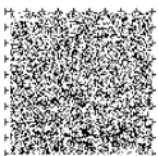


福岡県のあゆみ

西暦		
1871	明治4	◀ 廃藩置県、初の知事に有栖川宮熾仁親王 福岡ほか7県を福岡・三潅・小倉の3県に統合
1873	6	◀ 筑前竹槍一揆が起こる
1876	9	◀ 小倉県、三潅県を統合し、ほぼ現在の福岡県域確定
		◀ 秋月の乱が起こる
1879	12	◀ 第1回福岡県会開会
1889	22	◀ 市制・町村制施行、福岡・久留米両市誕生 ◀ 九州初の陸蒸気、博多～千歳川(筑後川)開通
1897	30	◀ 八幡製鉄、遠賀郡八幡村に開業
1899	32	◀ 福岡市で電話業務開始
1903	36	◀ 京都帝国大学福岡医学大学(現 九州大学)設立
1907	40	◀ 福岡市で初めて自動車走る
1909	42	◀ 門司～鹿児島間鉄道開通
1910	43	◀ 福岡市で初めて市内電車走る
1912	大正1	◀ 飛行機(舞鶴号)福岡城外で九州の空を初めて飛ぶ
1920	9	◀ 第1回国勢調査(県人口2,188,249人で全国第5位)
1923	12	◀ 全国初の県立女子専門学校(現 福岡女子大)福岡市に開校
1927	昭和2	◀ 普通選挙法による初の福岡県議会議員選挙
1942	17	◀ 関門海底鉄道トンネル開通
1948	23	◀ 第3回国民体育大会、福岡県で開催
1952	27	◀ 米国領事館、福岡市に開設
1958	33	◀ 関門国道トンネル開通
1962	37	◀ 若戸大橋開通
1963	38	◀ 北九州5市合併、政令指定都市北九州市発足
1966	41	◀ 韓国総領事館、福岡市に開設
1972	47	◀ 福岡市、政令指定都市となる
1973	48	◀ 関門橋(全長1,068メートル)開通
1975	50	◀ 国鉄山陽新幹線、岡山～博多間開通
1981	56	◀ 米国ハワイ州と姉妹提携 ◀ 福岡県新庁舎落成
1984	59	◀ 筑後大ぜき完成
1985	60	◀ 中国総領事館、福岡市に開設
1987	62	◀ 中国との間に定期航空路
1988	63	◀ 県の当初予算1兆円を突破
1989	平成1	◀ 福岡市でアジア太平洋博覧会開催
1990	2	◀ 第45回国民体育大会開催 ◀ 第26回全国身体障害者スポーツ大会開催
1992	4	◀ 第43回全国植樹祭開催 ◀ 中国江蘇省と友好提携 ◀ 福岡県立大学開校 ◀ オーストラリア領事館、福岡市に開設
1993	5	◀ 福岡県文化賞創設
1994	6	◀ 異常渇水により県民生活や農作物等に大打撃
1995	7	◀ ユニバーシアード福岡大会開催 ◀ 国際・文化・情報の交流拠点「アクロス福岡」オープン
1996	8	◀ 福祉・女性・人権の活動拠点「クローバープラザ」オープン ◀ 福岡県民スポーツ栄誉賞創設

西暦		
1997	9	◀ 国連人間居住センター(ハビタット)福岡事務所開設 ◀ アジア開発銀行福岡総会開催
1998	10	◀ 福岡県の人口500万人を超える
1999	11	◀ 福岡空港新国際線旅客ターミナルオープン
2000	12	◀ 九州・沖縄サミット福岡蔵相会合開催 ◀ アジア・太平洋環境大臣会議in北九州開催 ◀ 福岡県県民栄誉賞創設 ◀ オーストラリア領事館、総領事館へ昇格
2003	15	◀ いちご「あまおう」本格生産開始 ◀ 海峡ドラマシップオープン
2004	16	◀ 第19回国民文化祭・ふくおか2004(愛称:とびうめ国文祭)開催
2005	17	◀ 福岡県西方沖地震発生 ◀ 九州国立博物館開館 ◀ 第18回全国健康福祉祭ふくおか大会(ねんりんピックふくおか2005)開催
2006	18	◀ 新北九州空港開港 ◀ 北部九州自動車100万台生産達成 ◀ タイ・バンコク都との友好提携
2007	19	◀ インド・デリー準州との友好提携
2008	20	◀ ベトナム・ハノイ市との友好提携 ◀ 九州国立博物館で日中韓首脳会議開催
2009	21	◀ ベトナム総領事館、福岡市に開設 ◀ ラーメン用小麦「ラー麦」を使ったラーメン、県産米「元気づくし」販売開始
2010	22	◀ 全国初となる福岡県暴力団排除条例施行
2011	23	◀ 九州新幹線鹿児島ルート全線開通
2012	24	◀ 九州北部豪雨発生 ◀ 福岡共同公文書館開館
2013	25	◀ 九州芸文館開館
2015	27	◀ 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録
2016	28	◀ 東九州自動車道全線開通 ◀ 「G7北九州エネルギー大臣会合」、 「One Health」に関する国際会議開催 ◀ 「博多祇園山笠」「戸畑祇園大山笠」ユネスコ無形文化遺産登録
2017	29	◀ 平成29年7月九州北部豪雨災害発生 ◀ 「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産登録 ◀ 第37回全国豊かな海づくり大会開催
2018	30	◀ タイ王国総領事館、福岡市に開設 ◀ 「第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会(KOUGEI EXPO)」開催
2019	31	◀ ラグビーワールドカップ 2019 日本大会開催 ◀ 「G20 財務大臣・中央銀行総裁会議」開催
	令和1	◀ 全国初となる福岡県部落差別解消推進条例施行
2020	2	◀ 新型コロナウイルス感染症の発生
2021	3	◀ 全国初となる福岡県ワンヘルス推進基本条例施行 ◀ 「2021 世界体操・世界新体操選手権北九州大会」開催
2022	4	◀ 第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会が福岡市で開催
2023	5	◀ 福岡県アンテナレストラン「麹町なだ万 福岡別邸」がオープン ◀ JR 日田彦山線 BRT「ひこぼしライン」が開業
2024	6	◀ 「金融・資産運用特区」に選定
2025	7	◀ インド総領事館、福岡市に開設

※暦年表記をしています。



福岡県のすがた

全国から見た福岡県

	区分		順位	福岡県	全国	単位	調査年月	資料出所
(土地)	面積		29	4,987	377,980	km ²	2026年1月	国土交通省国土地理院「全国都道府市区町村別面積調」
(人口)	人口		8	5,082	123,050	千人	2025年10月	総務省統計局「国勢調査」人口速報集計
	人口増加率		7	-1.0	-2.5	%		
	世帯数		9	2,401	57,125	千世帯		
	人口密度		7	1,019	330	人/km ²		
	平均寿命	男	27	81.38	81.49	歳	2020年	厚生労働省「都道府県別生命表」
女		21	87.70	87.60				
(経済)	県内総生産(名目)		9	20,187	595,789	十億円	2022年	内閣府経済社会総合研究所「県民経済計算」
	一人当たり県民所得		36	2,813	3,448	千円		
	農業産出額		19	2,301	108,200	億円	2024年	農林水産省「生産農業所得統計」
	製造品出荷額等		10	89,519	3,020,033	億円	2021年6月	総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」
	海上貨物	輸出	4	18,948	247,235	千t	2024年	国土交通省「港湾統計(年報)」
		輸入	9	31,574	810,515			
	卸売業年間販売額		4	164,203	4,016,335	億円	2021年	総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」
	小売業年間販売額		8	56,780	1,381,804	億円		
(学校教育)	大学(国・公・私)数		6	34	812	校	2025年	文部科学省「学校基本調査」
	短期大学数		3	17	292			
(労働)	産業別就業割合	第1次産業	38	2.4	3.2	%	2020年10月	総務省統計局「国勢調査」
		第2次産業	40	19.9	23.4			
		第3次産業	5	77.7	73.4			
(保健)	医療施設 (人口10万人当たり)	病院	16	8.8	6.5	施設	2024年10月	厚生労働省「医療施設調査・病院報告」
		歯科診療所	3	59.3	53.6			
	医療関係従事者 (人口10万人当たり(従業員による))	医師	10	331.6	280.9	人	2024年12月	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」
		歯科医師	3	106.9	83.7			

福岡いろいろ全国ランキング

1位

いちごの販売単価

【福岡県】1,659円/kg
【全国】1,480円/kg

※全国単価は主産県10県の平均
2025年 福岡県農芸畜産課調べ

2位

甘柿の栽培面積

【福岡県】694.0ha
【全国】4,320.0ha
【全国シェア】16.1%

2022年 特産果樹生産動態等調査(農林水産省)

1位

たけのこの生産量

【福岡県】6,163トン
【全国】20,865トン
【全国シェア】29.5%

2024年 特用林産品産量調査(林野庁)

2位

ガーベラ(切り花)の出荷量

【福岡県】1,800万本
【全国】11,610万本
【全国シェア】15.5%

2024年 花き生産出荷統計(農林水産省)※ガーベラの作付面積も10.5haで全国2位

2位

小麦作付面積

【福岡県】15,500ha
【全国】229,500ha
【全国シェア】6.7%

2025年 作物統計(農林水産省)

3位

まだい類漁獲量

【福岡県】1,519トン
【全国】14,706トン
【全国シェア】10.3%

2023年 漁業・養殖業生産統計(農林水産省)

農林水産業

1位

木製棚、戸棚の出荷金額

【福岡県】311.8億円
【全国】1,388.7億円
【全国シェア】22.5%

2位

花むしろ、ござの出荷金額

【福岡県】1.6億円
【全国】4.6億円
【全国シェア】33.6%

1位

たんすの出荷金額

【福岡県】29.9億円
【全国】118.3億円
【全国シェア】25.3%

2位

ちょうちゃんの出荷金額

【福岡県】21.3億円
【全国】62.0億円
【全国シェア】34.3%

1位

王冠の出荷金額

【福岡県】94.8億円
【全国】135.8億円
【全国シェア】69.8%

2位

ロボット、同装置の部分品等の出荷金額

【福岡県】193.6億円
【全国】1,041.3億円
【全国シェア】18.6%

製造業

1位

軌条の輸出量

【戸畑税関支署】323,448トン
【全国】362,661トン
【全国シェア】89.2%

2024年 貿易統計(財務省)※輸出額も517.6億円で、全国1位

2位

二輪自動車・原動機付自転車の輸出量

【博多税関支署】17.4万台
【全国】78.4万台
【全国シェア】22.2%

2024年 貿易統計(財務省)※輸出額も1,674.7億円で、全国2位

1位

ICの輸出額

【博多税関支署】16,029.4億円
【全国】45,918.3億円
【全国シェア】34.9%

2024年 貿易統計(財務省)

2位

自動車用タイヤ及びチューブの輸出量

【博多税関支署】178,276トン
【全国】658,791トン
【全国シェア】27.1%

2024年 貿易統計(財務省)※輸出額も1,206.7億円で、全国2位

1位

鮮魚、冷蔵魚及び冷凍魚の輸出額

【博多税関支署】220.7億円
【全国】1,266.3億円
【全国シェア】17.4%

2024年 貿易統計(財務省)※輸出額は42,502tで、全国2位

3位

国内線の年間乗降客数

【福岡空港】1,843万人
【全国】21,863万人
【全国シェア】8.4%

令和6年 空港管理状況調査(国土交通省)

運輸・貿易

1位

たらこへの支出金額

【福岡市】4,511円
【全国】2,059円

2022~2024年平均 家計調査(総務省)
※2人以上の世帯における1世帯当たりの金額

2位

鶏肉への支出金額

【福岡市】22,051円
【全国】18,321円

2022~2024年平均 家計調査(総務省)
※2人以上の世帯における1世帯当たりの金額

1位

さしみ盛合わせへの支出金額

【北九州市】7,043円
【全国】4,247円

2022~2024年平均 家計調査(総務省)
※2人以上の世帯における1世帯当たりの金額

2位

出生率(人口千人あたり)

【福岡県】6.5人
【全国】5.7人

2024年 人口動態調査(厚生労働省)

1位

ごぼうへの支出金額

【北九州市】1,245円
【全国】963円

2022~2024年平均 家計調査(総務省)
※2人以上の世帯における1世帯当たりの金額

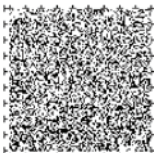
3位

国指定史跡名勝天然記念物数

【福岡県】129件
【全国】3,275件
【全国シェア】3.9%

文化庁ホームページ(2025年11月1日現在)

その他



福岡県の市町村

北九州市、福岡市の2つの政令指定都市を持つ福岡県の人口は、508万1,879人（※令和7年10月1日現在）です。

また、福岡県には29市、29町、2村があり、これら60市町村は地理的、歴史的、経済的特性などから、北九州、福岡、筑豊、筑後の4地域に分けられています。

※人口及び世帯数は、「令和7年国勢調査人口速報集計」の数値（令和7年10月1日現在）です。

北九州地域

鉄鋼、自動車、先端半導体、ロボットなどの産業の集積が進み、蓄積された「ものづくり技術」を生かして地域の活性化が図られています。24時間運航可能な北九州空港があり、アジアの物流拠点として基盤整備が進んでいます。

福岡地域

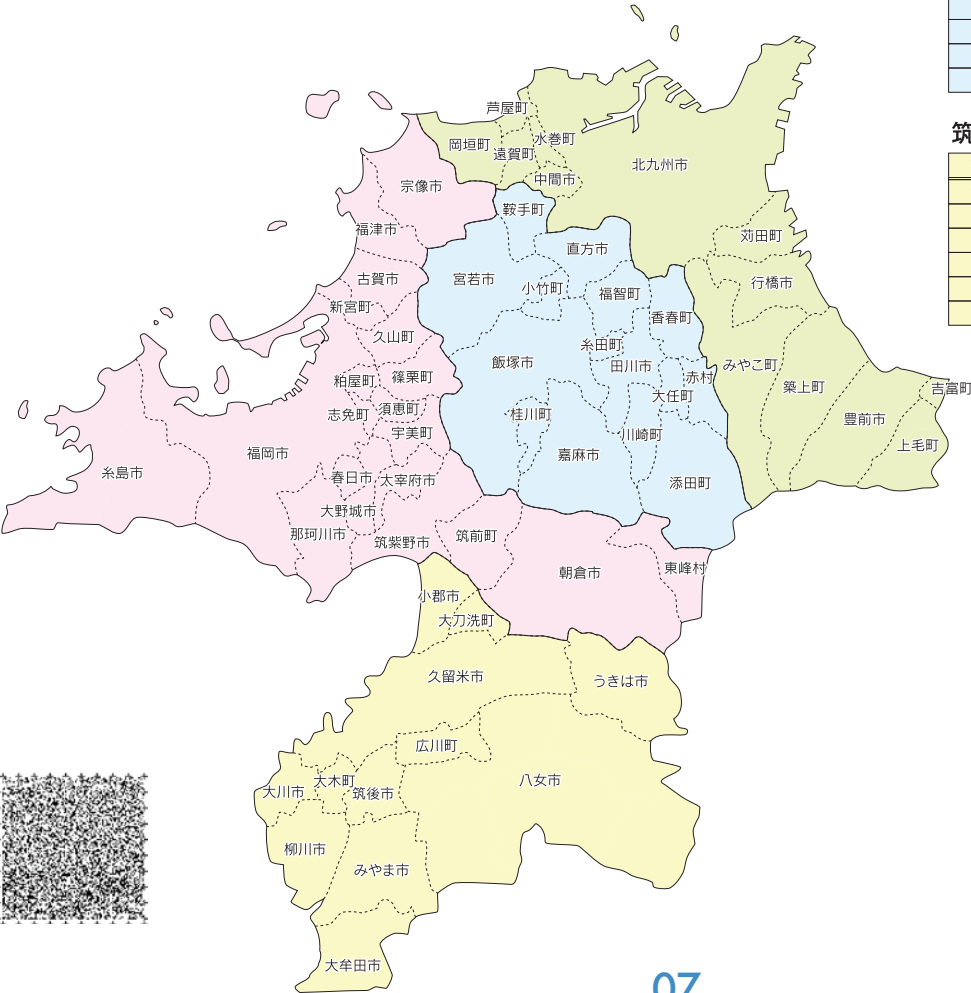
九州の管理中枢機能や第3次産業の集積が進み、西日本のリーディングゾーンとして発展してきました。九州新幹線や福岡空港、博多港など交通基盤の整備が進んでいます。

筑豊地域

石炭産業に代わる新しい産業として、自動車関連企業の立地が進み、自動車産業を支える人材育成も活発に行われています。理工系大学を中心にベンチャー企業や研究機関の集積を図り、新たな産業創出の拠点づくりも進められています。

筑後地域

豊かな自然と農林水産業や地場産業、商工業などの多様な産業、文化、さらに個性のある都市群など、魅力に満ちた地域です。交通・物流基盤や、生活基盤の整備を進め、地域の振興と良質な居住環境を整備しています。



北九州地域(4市9町)

市町村名	人口(人)	市町村名	人口(人)
北九州市	904,289	遠賀町	18,396
行橋市	70,037	苅田町	37,975
豊前市	22,267	みやこ町	16,750
中間市	38,496	吉富町	6,257
芦屋町	12,303	上毛町	6,661
水巻町	27,654	築上町	15,370
岡垣町	30,583		

福岡地域(11市8町1村)

市町村名	人口(人)	市町村名	人口(人)
福岡市	1,663,892	那珂川市	47,773
筑紫野市	105,919	宇美町	37,239
春日市	109,026	篠栗町	31,113
大野城市	103,496	志免町	45,407
宗像市	97,045	須恵町	29,070
太宰府市	72,823	新宮町	32,195
古賀市	58,350	久山町	9,267
福津市	69,064	粕屋町	48,506
朝倉市	47,469	筑前町	30,842
糸島市	100,674	東峰村	1,618

筑豊地域(5市9町1村)

市町村名	人口(人)	市町村名	人口(人)
直方市	53,568	香春町	9,355
飯塚市	122,329	添田町	7,616
田川市	44,222	糸田町	7,566
宮若市	24,109	川崎町	13,470
嘉麻市	31,909	大任町	4,766
小竹町	6,533	赤村	2,495
鞍手町	14,022	福智町	19,878
桂川町	12,205		

筑後地域(9市3町)

市町村名	人口(人)	市町村名	人口(人)
大牟田市	101,941	小郡市	58,652
久留米市	296,827	うきは市	25,966
柳川市	60,569	みやま市	33,029
八女市	57,350	大刀洗町	15,800
筑後市	47,722	大木町	13,172
大川市	29,718	広川町	19,264

県全体

5,081,879人
2,401,053世帯

福岡県の商工業

福岡県の中小企業は県内企業数の 99.8%を占め、そのうち小規模企業数が 83.2%を占めています。また、従業員数は県内の 77.3%を占めています。

福岡県の工業は、鉄鋼、石炭・化学等の基礎素材型産業や食料品等の生活関連型産業を中心に発展してきましたが、近年では、自動車関連産業等の加工組立型産業のウェイトが高まっています。また、食料品製造業は、豊富で良質な水産物が調達できることや、大消費地に近く物流環境に恵まれていることなどから集積が進んでいます。

自動車産業

福岡県には、日産自動車九州、トヨタ自動車九州、日産車体九州の3つの自動車工場があり、隣の大分県にもダイハツ九州の自動車工場があります。北部九州にある4つの自動車工場の生産能力は年間 150 万台です。世界において、150 万台以上乗用車を作っている国は 7 か国しかありません。福岡県内には、約 650 社の関連企業があり、北部九州の自動車産業を支えています。



水素エネルギー産業

福岡県では、環境にやさしい水素の産業振興に取り組んでいます。九州大学では、水素・燃料電池に関する世界最先端の研究開発が行われ、この分野で、福岡県は世界から注目されています。県では、水素の消費量が多いトラックやバスなどの商用 FCV の普及に向けて、燃料電池トラックの導入や水素ステーションの運営に対する支援を行っています。県庁敷地内に設置しているものを含めて、現在、県内8か所に水素ステーションが設置されています。



大型FCトラック

バイオ産業

福岡県では、生物の持つ能力や性質を活かす「バイオ技術」を活用して、産業を振興しています。久留米市など筑後地域は、昔から醤油や味噌など発酵食品の製造が盛んであり、また日本酒を造る酒蔵も多くあります。この地域を中心に新しい薬や健康食品、福岡県独自のお酒などの製品が開発されたり、バイオに関係する企業が新設されたりするよう、研究開発の支援などを行っています。



バイオ研究の様子

半導体産業

福岡県には、半導体関連企業が約 400 社集積しています。また、大学・高専・工業高校などの教育機関が多数立地しているほか、企業の研究開発を支援する「福岡超集積半導体ソリューションセンター」や半導体人材を育成する「福岡半導体リスキングセンター」等の公的支援機関も充実しています。県ではこうしたポテンシャルを最大限に活用し、産学官が連携して、半導体産業を振興しています。



福岡超集積半導体ソリューションセンター

宇宙ビジネス

福岡県には、宇宙に挑戦する企業や、宇宙に関する研究を行っている九州大学、九州工業大学などがあります。福岡県では、これらの企業、大学が行う人工衛星やロケット、人工衛星からのデータを活用した新サービス、宇宙食の開発などの支援を行っています。



県内宇宙スタートアップ(株)QPS研究所が開発した小型レーダー衛星
(提供: (株)QPS研究所)

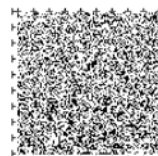
スタートアップ支援

2025年4月に、世界的なスタートアップ支援機関であるCIC(ケンブリッジイノベーションセンター)がアジアで2か所目の拠点「CIC Fukuoka」を開設しました。福岡県では、「CIC Fukuoka」内に、県として初めてのスタートアップ支援拠点「グローバルコネクタ福岡」を設置し、「資金調達」「ビジネスマッチング」「海外展開」「先端技術」「専門人材マッチング」などを支援する職員を配置しています。スタートアップの成長を総合的に支援し、更なるスタートアップの創出や成長に繋がるグローバルなエコシステムの形成を目指しています。



グリーン成長プロジェクト

福岡県では、国が掲げる2050年のカーボンニュートラルを見据え、自動車、半導体、水素の分野において、「グリーン」をキーワードとした「グリーン成長プロジェクト」を推進しています。EVや自動運転などの「先進モビリティ」、省エネで高性能な「グリーンデバイス」、再生可能エネルギー等で作る「グリーン水素」の先進拠点の構築に取り組み、経済と環境の好循環の実現を目指します。



福岡県の農林水産業

農業

福岡県の耕地面積は7万8,000ha(令和6年)で、県土の16%を占めており、うち水田の割合が81%(全国平均54%)と高いことが特長です。

県では、恵まれた自然条件のもとで、多種多様な農業が営まれており、米の「夢つくし」、「元気つくし」、いちごの「あまおう」、ラーメン用小麦「ラー麦」など全国に誇れる農産物が数多くあります。

今後も消費者の皆様においしく味わっていただける農産物の生産を推進します。

農産物



小麦作付面積
全国2位
(令和7年)

ラー麦

細麺が主流の福岡のラーメン用に開発された小麦。コシがあって歯切れが良く、ゆで伸びしにくいのが特長。



夢つくし

県で初めて開発された品種。光沢とモチモチの食感、味の良さが自慢で、ブランド米としての評価も高い県産米です。



元気つくし

夏の暑さに強く高品質な品種。一粒一粒がしっかりとツヤと粘りがあり、冷めてもおいしいと評判です。



大豆作付面積
全国5位
(令和7年)

ふくよかまる

県が育成した大豆の新品種。豆腐に加工した時に、甘みとコクがあります。また、納豆や豆乳に加工されて販売されています。



玉水

同時期に販売される他の梨よりも糖度が2度ほど高く、丸い形が特長の福岡生まれの梨。7月下旬から8月上旬に販売されます。



早味かん

果皮は緑色ですが、同時期に販売される他のみかんよりも高糖度で食味が良く、薄皮が薄いので食べやすい福岡生まれのみかん。県産露地みかんの先頭を切って9月下旬から販売されます。



甘柿作付面積
全国2位
(令和5年)

秋王

サクサクした食感で、甘みが強く、種がほとんどないことが特長の、福岡生まれの甘柿。赤みが鮮やかな「富有」も全国的に有名です。



いちじく作付面積
全国4位
(令和5年)

とよみつひめ

糖度が高く、果肉が肉厚でなめらかな食感が特長の福岡生まれのいちじく。ミネラルや食物繊維も豊富に含んでいます。



いちご作付面積
全国2位
(令和6年)

あまおう

21年連続販売単価日本一に輝く、福岡県が全国に誇るトップブランドいちご。県内限定で生産されており、大粒で丸く、鮮やかな赤色が特長。



青ねぎ

「博多万能ねぎ」は特に有名。東京方面にも、毎日のように空輸されています。



冬春なす生産量
全国3位
(令和6年)

なす

濃い紫紺の皮まで柔らかい長なすで、アクが少ないのが特長。年間を通じて生産されています。



福岡の
八女茶

全国的に広く知られる「福岡の八女茶」。中でも、伝統的な製法で生産される「八女伝統本玉露」は、平成27年に国の地理的表示(GI)保護制度の第一弾として、登録されました。



キク生産量
全国3位
(令和6年)

キク

全国でも有数のキクの産地、福岡県。中でも八女の電照菊が有名です。色や形のバリエーションが増え、アレンジメントやブライダル用にも人気が出ています。



トルコギキョウ生産量
全国3位
(令和6年)

トルコギキョウ

花びらが愛らしくピンクや白など、カラーバリエーションも豊富。ブライダル関連など、需要が高まっています。



博多和牛

県内産の稲ワラ等の良質な飼料を食べて育った和牛で、おいしさと安全・安心を追求しています。



鳥の出羽鶏
全国3位
(令和6年)

はかた地どり

水たきやがめ煮といった郷土料理に合うように県が開発した「はかた地どり」はコクとうまみ、歯応えが抜群。令和4年に国の地理的表示(GI)として登録されました。

募集中!

①ふくおか地産地消応援ファミリー

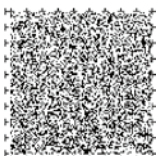
県産農林水産物を積極的に購入する家庭を募集し「応援ファミリー」として登録

②ふくおか地産地消応援の店

県産農林水産物を積極的に使用する飲食店、総菜店、旅館、ホテル、農林水産物直売所を募集し、「応援の店」として認定

③ふくおか農林漁業応援団体

県産農林水産物の消費拡大につながる活動や、農山漁村地域での社会貢献活動を実施する企業、大学、NPO法人等団体を募集し、「応援団体」として登録



【問い合わせ】食の安全・地産地消課 TEL 092-643-3575
申込み方法などはこちら
→ <https://f-ouen.com/>

福岡のおいしい幸せ | 検索



ふくおかの酒「ふくさけ」

福岡県は、酒づくりが盛んで、特に筑後川中流域の城島地区(久留米市)は、多くの酒蔵が建ち並び、かつては灘、伏見に並ぶ酒どころとして数えられました。

その理由としては、古くから稲作が行われてきた西日本有数の米どころであること、そして九州最大の河川である筑後川に加え、矢部川や遠賀川といった一級河川が流れ、酒づくりに欠かせない豊かな水に恵まれていることが挙げられます。

現在も、県内には65の酒蔵があり(全国5位)、日本酒に加え、麦焼酎を中心とした多種多様な焼酎が醸されています。

令和7年10月には、本県の日本酒が酒類の地理的表示(GI)に指定されました。県では、これからも、「GI福岡」認定酒を始めとした県産酒の振興に取り組んでいきます。



ふくさけの
魅力を発信する
県公式HP
「福岡の酒ドットコム」



酒類の地理的表示(GI):
お酒について、「正しい産地」であることと、「一定の基準」を満たして生産されたことを示す制度。



城島酒蔵びらき
【問い合わせ】
福岡の食販売促進課
TEL 092-643-3514



飲酒運転は犯罪です。
飲酒運転は絶対しない、
させない、許さない、
そして見逃さない。

森林・林業

福岡県の森林面積は約22万5,000haで、県土の45%を占めています。森林は、水源かん養、土砂流出防止などの公益的機能を有しており、県民の安全・安心な生活を営むうえで重要な役割を果たしています。これらの機能は、林業が持続的に行われることで維持されることから、森林資源の循環利用を推進します。併せて、福岡県森林環境税を活用し、公益的機能が長期的に発揮できる森林づくりを推進します。また、全国有数の生産量を誇るたけのこ、ぶなしめじ、えのきたけなど、今後も消費者の皆様においしく味わっていただける林産物の生産を推進します。

林産物

たけのこ生産量
全国1位
(令和6年)



たけのこ

全国のたけのこの生産量の約30%は福岡県。北九州合馬地区や八女地域など、全国に誇る各産地があります。

ぶなしめじ生産量
全国3位
(令和6年)



ぶなしめじ

苦味が少なく食味が良いため、様々な料理に使えるきのこ。県内では大木町での生産が盛んです。

えのきたけ生産量
全国4位
(令和6年)



えのきたけ

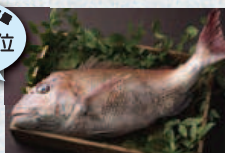
料理の彩りを引き立たせる色の白さと、シャキシャキとした食感が特長。食物繊維が豊富に含まれ、低カロリーでヘルシーです。

水産業

福岡県では異なる特徴をもつ筑前海・有明海・豊前海の海域と河川・湖沼等の内水面において、多様な漁業や養殖業が行われています。全国有数の生産を誇るマダイ・ノリをはじめ多様な水産物が水揚げされます。今後も消費者の皆様においしく味わっていただける新鮮な水産物の生産を推進します。

水産物

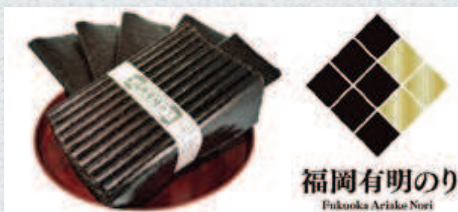
マダイ繁殖漁獲量
全国3位
(令和6年)



天然マダイ

福岡県は全国有数の天然マダイの産地。筑前海の荒波で育つマダイは身の締まりがよく、上品な味わいが特長で、特に春と秋は脂がのり絶品。

のり養殖生産量
全国4位
(令和6年)



福岡有明のり

有明海でとれるノリは、高級ノリとして有名。豊かな香りと口溶けの良さ、舌の上に広がる旨みは格別です。

カキ



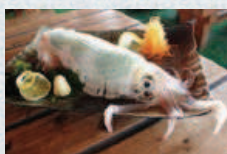
「豊前海一粒かき」は身入りがよく、濃厚な味わいが特長。海辺のかき小屋が人気の「糸島カキ」や「唐泊恵比須かき」も有名。



サワラ

筑前海や豊前海で漁獲され、成長すると全長1mを超える大型魚。寒くなるとつれ脂が乗りおいしくなります。

一本槍



筑前海の漁師が一本一本つり上げたケンサキイカ。身が透明でコリコリした歯応えと独特の甘みが特長です。

アユ



「清流の女王」とも言われるアユ。川苔をたっぷり食べて育つことで、清涼感のある香りと上品な旨みをまといます。

豊前本ガニ



豊前海で漁獲されるガザミの中でも、特に身入りの良いものが「豊前本ガニ」。旨みのあるしっとりとした身と濃厚なミソが特長。

ワンヘルス認証

福岡県では、ワンヘルスの実践が次世代の食と農につながることから、農林水産業におけるワンヘルスの取り組みを進めています。

その一環として、食の安全・安心や環境への配慮など、ワンヘルスの理念に沿って生産される農林水産物等を認証する「福岡県ワンヘルス認証制度」を全国で初めて創設しました。

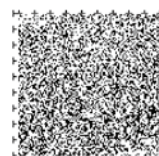
認証を受けた商品は「認証ロゴマーク」を付けることができます。この制度を活用して、農林水産業におけるワンヘルスの取り組みを県民の皆さんに周知するとともに、認証ロゴマークの付いた県産農林水産物を選んでいただくことで、「地産地消」を推進します。



福岡県ワンヘルス
認証サイト



【問い合わせ】食の安全・地産地消課
TEL:092-643-3571



福岡県の観光

観光スポット



①桜井二見ヶ浦・夫婦岩 (糸島市)

糸島市北部に位置する県の名勝地で夕日が美しいことから「夕日の二見ヶ浦」と呼ばれています。寄り添って夫婦のように並ぶ巨大な岩「夫婦岩」も有名です。



②門司港レトロ地区 (北九州市)

国際貿易地として栄えた門司港周辺には、開港当時の面影を残す趣のある建物が残っています。1995年に「門司港レトロ」として生まれ変わり、今では年間200万人以上の人が訪れる人気の観光地です。



③旧蔵内邸 (築上町)

明治から昭和にかけて筑豊地方を中心に炭坑を営んだ蔵内次郎作、保房、次郎兵衛の蔵内家三代にわたる本家住宅です。当時の状態をよく残した豪華な住宅建築や庭園が見どころです。



④太宰府天満宮 (太宰府市)

学問の神様・菅原道真公を祀る太宰府天満宮は、全国約12,000社の天満宮の総本宮と称えられ、国内外から多くの人が祈願に訪れます。

※写真は仮殿。御本殿に祈願できるのは2026年9月中旬以降の予定。



⑤ことこと列車 (平成筑豊鉄道)

直方駅～行橋駅間を車窓に流れるのどかな風景を眺めながら、贅を尽くした列車空間と共に地産地消にこだわった絶品フレンチコースを堪能できます。車両デザインは、JR九州の「ななつ星」や「或る列車」を手掛ける水戸岡鋭治氏です。



⑥柳川川下り (柳川市)

江戸時代に城下町として栄えた柳川は「水郷(水のまち)」としても知られる観光名所です。水路「掘割」を巡る川下りでは、しだれ柳や季節の花々、白壁の美しい街並みを水面から眺める贅沢な時間が過ごせます。



⑦筑後吉井白壁の町並み (うきは市)

江戸時代に宿場町として栄えたこの地域には、約250軒の歴史的な建造物がほぼ当時のまま残っています。カフェやスイーツ店、雑貨屋などが立ち並び、ゆっくり散策するのにおすすめのエリアです。



⑧英彦山 (添田町)

古来から神聖な山として信仰を集めており、山伏の修験道の霊場としても有名です。中心部にある英彦山神宮奉幣殿は国指定重要文化財で、秋は紅葉の名所として多くの登山ファンが訪れます。

グルメ

福岡県には、とんこつラーメンやもつ鍋、明太子をはじめとした絶品グルメが多くあります。



とんこつラーメン



もつ鍋

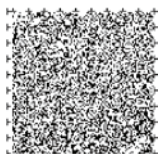


辛子明太子



うどん

詳しくはこちら
福岡観光WEB
クロスロードふくおか



福岡県内を手軽に周遊できるバスツアー。グルメ、絶景・歴史・文化・体験など、福岡県の多様な魅力を楽しめます！



詳しくは公式サイトへ



写真提供:福岡県観光連盟

福岡県の世界遺産

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群



沖ノ島では、4世紀後半から9世紀にかけて航海の安全を願う祭祀が行われました。

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群は、沖ノ島を崇拝する伝統が古代東アジアの活発な対外交流の中で発展し、今日まで継承されてきた貴重な遺産群として2017年7月に世界遺産に登録されました。



宗像大社沖津宮遙拝所

通常渡島できない沖ノ島を遥拝する(遠くから拝む)生きた伝統を伝える、大島における信仰の場



新原・奴山古墳群

沖ノ島で祭祀を行い、現代に続く島に対する信仰の伝統を育んだ豪族、宗像氏の存在の物証

世界遺産「神宿る島」
宗像・沖ノ島と関連
遺産群 公式HP



明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業



江戸時代の終わりから明治時代にかけて、日本は、西洋の技術や機械を取り入れて、約50年という短期間に驚くべきスピードで産業を発展させました。

福岡県ほか7県にまたがる「明治日本の産業革命遺産」は、日本の産業革命の原動力となった重工業の遺産として、2015年7月に世界遺産に登録されました。

※官営八幡製鐵所旧本事務所、遠賀川水源ポンプ室は非公開施設です。眺望スペースから施設の外観を見学することができます。



官営八幡製鐵所 旧本事務所
1899年に建てられ、製鐵所の中心的な役割を果たした初代本事務所



三池炭鉱 宮原坑
重工業の燃料となる石炭を産出し、日本の近代化を支えた主力炭鉱



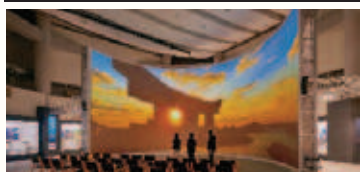
三池港
三池炭鉱で産出された石炭を運出すためにつられ、現在も産業港として使われている



遠賀川水源ポンプ室
1910年以来、現在も動き続けている製鐵所の送水施設

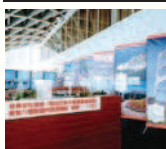
世界遺産についての解説、展示をご覧になりたい方は、以下の施設にお越しください！

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群



世界遺産ガイダンス施設海の道むなかた館
【住所】宗像市深田588

明治日本の産業革命遺産



世界遺産ビジターセンター
(スペースLABO ANNEX内)
【住所】北九州市八幡東区東2-2-11



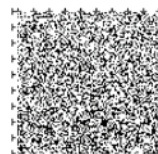
MPLC石炭館
(大牟田市石炭産業科学館)
【住所】大牟田市坪町6-23



遠賀川水源ポンプ室
インフォメーションセンター
【住所】中間市大字垣生660-1



世界遺産「明治日本の産業革命遺産」
製鉄・製鋼、造船、石炭産業 福岡県
公式HP



福岡県の伝統工芸品～歴史と風土が育みました～

経済産業大臣指定伝統的工芸品（7品目）

この指定は、経済産業大臣によって定められた要件（主として日常生活で使用、主要工程が手作り、100年以上前から続く技術や技法など）を持つ工芸品に与えられます。

福岡県内では7品目がこの指定を受け、伝統にふさわしい完成度の維持に努めています。



1 博多織



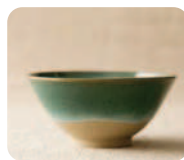
2 博多人形



3 久留米紬



4 小石原焼



5 上野焼



6 八女福岡仏壇



7 八女提灯

福岡県知事指定特産工芸品・民芸品（38品目）

この指定は、福岡県で製造される郷土色が豊かで、一定の伝統性を有する（技術・技法が50年以上の歴史があり今日まで継続など）工芸品・民芸品に与えられます。

現在、38品目が指定され、福岡県内のみならず、日本中の人々に愛されています。



8 孫次風



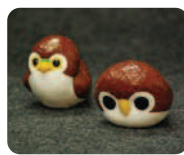
9 小倉織



10 八朔の馬



11 芦屋釜



12 津屋崎人形



13 福岡横屋工芸ガラス



14 博多曲物



15 博多鉄



16 博多張子



17 博多独楽



18 博多おきあげ



19 今宿人形



20 木うそ



21 高取焼



22 甘木絞



23 杷木五月節句幟



24 英彦山がらがら



25 棕櫚蓆



26 久留米おきあげ



27 藍胎漆器



28 城島鬼瓦



29 筑後和傘



30 鍋島緞通



31 久留米綿入はんてん



32 八女手漉和紙



33 八女石灯ろう



34 八女竹細工



35 八女矢



36 八女和ごま



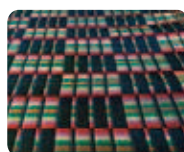
37 赤坂人形



38 きじ車



39 天然樟脳



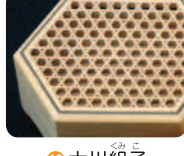
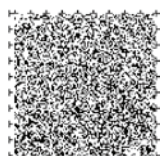
40 掛川



41 大川総桐筆筒



42 大川彫刻



43 大川組子



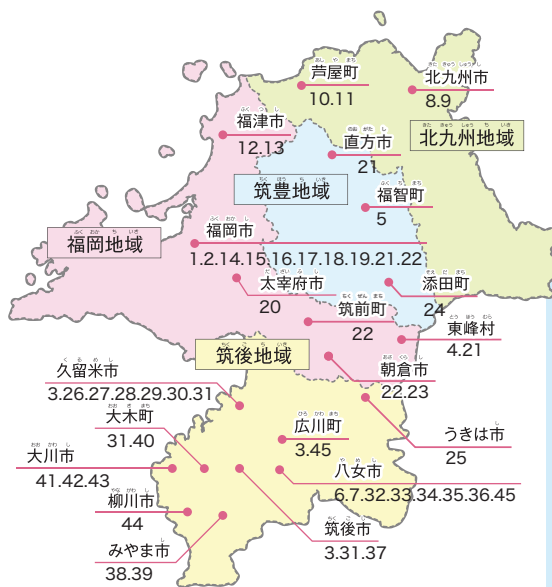
44 柳川まり



45 八女すだれ

伝統工芸品マップ（主な生産地を示しています。）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 博多織 | 23 杷木五月節句織 |
| 2 博多人形 | 24 英彦山がらがら |
| 3 久留米絊 | 25 棕櫚箒 |
| 4 小石原焼 | 26 久留米おきあげ |
| 5 上野焼 | 27 藍胎漆器 |
| 6 八女福島仏壇 | 28 城島鬼瓦 |
| 7 八女提灯 | 29 筑後和傘 |
| 8 孫次風 | 30 鍋島緞通 |
| 9 小倉織 | 31 久留米綿入はんてん |
| 10 八朔の馬 | 32 八女手漉和紙 |
| 11 芦屋釜 | 33 八女石灯ろう |
| 12 津屋崎人形 | 34 八女竹細工 |
| 13 福岡積層工芸ガラス | 35 八女矢 |
| 14 博多曲物 | 36 八女和ごま |
| 15 博多鉢 | 37 赤坂人形 |
| 16 博多張子 | 38 きじ車 |
| 17 博多独楽 | 39 天然樟脳 |
| 18 博多おきあげ | 40 掛川 |
| 19 今宿人形 | 41 大川総桐筆筥 |
| 20 木うそ | 42 大川彫刻 |
| 21 高取焼 | 43 大川組子 |
| 22 甘木紋り | 44 柳川まり |
| | 45 八女すだれ |



福岡県の伝統工芸品
福岡県HP

久留米絊 オープンファクトリー

福岡県では、伝統工芸品の魅力を多くの方に知っていただくとともに、産地の賑わいづくりにつなげるため、生産現場を一般公開する「オープンファクトリー」(*)の取り組みを進めています。国指定伝統的工芸品である久留米絊の産地では、工房見学や藍染め等の製作体験ができます。

※オープンファクトリーとは、工房見学や製作体験を通して、職人の技術やものづくりの魅力を身近に感じていただく取り組みです。

福岡県の代表的な祭り

おに よ 鬼夜（久留米市）

■ 時期：1月7日



「鬼夜」は、1600年余りの伝統があり、日本三大火祭りの一つに数えられるとともに、国の重要無形民俗文化財に指定されている祭りです。クライマックスとなる大松明廻しは、6本の大松明が締め込み姿の人たちによって支えられ、火の粉を散らしながら本殿の周りを勇壮に回ります。

かわ わた じん こう さい 川渡り神幸祭（田川市）

■ 時期：5月第3土曜日とその翌日の日曜日



風治八幡宮 川渡り神幸祭は、県の無形民俗文化財第1号に指定されており、470年以上続く筑豊地区を代表する祭りです。運行する神輿では日本最大級の大神輿を先頭に、幟山笠が彦山川を渡り、若衆が水を掛け合います。

はか た き おん やま かさ 博多祇園山笠（福岡市博多区）

■ 時期：7月1日～15日



770年以上の伝統があり、国の重要無形民俗文化財に指定されている博多を代表する勇壮な夏祭りで、2016年11月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

期間中は町の各所に「飾り山」が飾られ、クライマックスの追い山では、重さ1トンもの「昇き山」を担いだ揃いの法被に締め込み姿の男たちが博多の町を駆け抜けます。

こ くら き おん だい こ 小倉祇園太鼓（北九州市小倉北区）

■ 時期：7月第3土曜日を挟む3日間



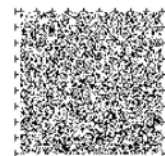
映画「無法松の一生」でも知られ、400年以上の歴史を持つ勇壮・優美な太鼓祇園で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

賑やかなチャンガラ(摺り鉦)と全国的にも珍しい両面打ちによる太鼓の音が、夏の小倉を祭り一色に染めます。

地域伝統行事お助け隊

近年、担い手不足により、祭り、風習その他の地域の伝統行事の継続が危ぶまれています。

そこで、県では、伝統行事の担い手として活動いただける方をあらかじめ「地域伝統行事お助け隊」として登録（2026年5月末現在358人登録）し、伝統行事の実施団体からの支援要請に応じることができる方を地域に派遣する事業を令和5年から実施しています。



福岡県庁の見どころ

物産展示室「福岡よかもんひろば」

県庁11階の「福岡よかもんひろば」では、県内の祭りをデザインした博多織タペストリーや伝統工芸品等の常設展示、触って学べるコーナーに加え、企画展やイベントを随時開催しています。

大川インテリアにふれてくつろげるラウンジやカフェも併設しています。

北棟ラウンジ

多目的ルーム
ワークショップや
セミナーをする場所。

南棟展示室

企画展示コーナー

季節やテーマに合わせて、
2～3か月ごとに県内の伝統
工芸品などを紹介。

博多織タペストリー

県の5つの祭りをデザイン
した織物。

伝統工芸品紹介コーナー

県が誇る物産や観光地を
たくさんの写真と映像で
紹介。

情報コーナー

県の人口や面積、産業などの
情報をパネルで紹介。

大川インテリアコーナー

家具の産地で有名な「大川」の若手職人さん
たちがつくった場所。

【問い合わせ】福岡よかもんひろば TEL 092-645-1835

まごころ製品ショップ、まごころアート FUKUOKA GALLERY

県では、障がいのある人の収入向上を図るため、「まごころ製品」の販売や「まごころアート」の活用の促進に取り組んでいます。

【まごころ製品ショップ】

障がいのある皆さんがつくる製品(パン、お菓子、縫製品、木工品など)や提供するサービス(清掃、除草、印刷、クリーニングなど)を「まごころ製品」と名付けて販売促進に取り組んでいます。

1年間に「まごころ製品」を10万円以上購入した企業等を「障がい者応援まごころ企業」として認定しています。

まごころ製品は、地下1階「まごころ製品ショップ」やオンラインで購入いただけます。



まごころ製品の一例



「まごころ製品」ロゴマーク



障がい者応援まごころ企業シンボルマーク



まごころ製品オンラインショップ

【問い合わせ】

まごころ製品ショップ&デスク(県庁地下1F)
TEL・FAX 092-632-7100
(まごころ製品)障がい福祉課
TEL 092-643-3264 FAX 092-643-3304
(まごころ企業)就業支援課
TEL 092-643-3593 FAX 092-643-3619

【まごころアート FUKUOKA GALLERY】

障がいのある皆さんが制作したアート作品(まごころアート)を県庁1階ロビーや地下1階から10階のエレベーターホールに展示しています。まごころアートの作品レプリカや画像データはオンラインからレンタル又は購入いただけます。



【問い合わせ】

文化政策課 TEL 092-643-3383



まごころアート FUKUOKA GALLERYのトップページ

福岡県の広報

●広報番組

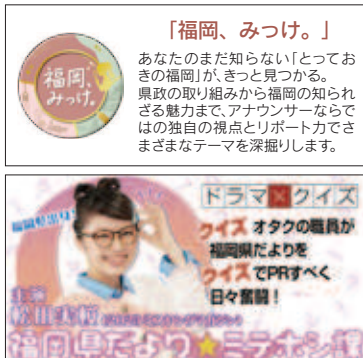
●テレビ番組



●ラジオ番組

F M福岡「福岡県だより」

●YouTube番組



●ホームページ・SNS(公式アカウント)

●ホームページ



●X



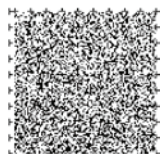
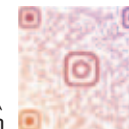
●LINE



●YouTubeチャンネル ふくおかインター ネットテレビ



●Instagram



九州の連携する姿を分かりやすく国内外にPRするため、「九州ロゴマーク」を作成しました。「のれん」をモチーフに、「九」「州」「一」の文字を組み合わせ、「九州はひとつ」を表現しています。



編集／発行
福岡県政策企画部広報課

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 TEL(092)643-3103
FAX(092)643-3107